

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E142J008	絵画演習 (Seminar of Making of Pictures)																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択	2	3	教育学部 令和2年度 以降入学生用			氏名 久間 清喜 E-mail kkuma@oita-u.ac.jp 内線											
授業の概要	前半には与えられたテーマに従って作品制作。後半では各自でテーマを設定し制作を行う。テーマの決定からエスキースを通じて自己のイメージを明確にするプロセスを重視し、素材、発表形態など絵画表現について総合的に検討する。																
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	現代の絵画表現についてテーマや技法を理解し説明できる。																
目標2	テーマを自由に検討し、それに従った制作プロセスを計画できる。																
目標3	自己の表現に適した技法、素材を決定し制作ができる。																
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1	地と図について																
2	地と図をテーマとしたドローイング																
3	地と図(色彩による)																
4	地と図(コラージュによる)																
5	作品鑑賞会																
6	現代美術における絵画表現																
7	現代絵画のテーマについて																
8	現代絵画の素材																
9	現代絵画の技法																
10	素材の応用																
11	作品の発表方法																
12	展示法の開発																
13	作品記録																
14	展覧会発表会																
15	作品ファイル鑑賞																
ラーニング	A:知識の定着・確認	テーマの決定から作品のイメージを明確にするプロセスでは各自が数回プレゼンテーションを行う。学生間での議論を通して考察を深める。					工夫	その他の									
ニテ	B:意見の表現・交換																
ンイ	C:応用志向																
グ	D:知識の活用・創造																
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	授業で学習する内容について参考になる作家、作品など事前に調べる。(7h)															
	事後学修	作品制作や発表会では授業時間内だけでは完了しないことがある。必要に応じて時間外学習・制作が必要となる。(20h)															
教科書	適宜プリントを配布する。																
参考書	適宜プリントを配布する。																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	作品制作	70%															
	作品発表	30%															
注意事項	作品制作に必要な道具は教室で準備するが、作品の素材、材料などは各自で要する必要あり。																
備考																	
リンク	URL																